高濃度カリウム製剤 適用上の注意(添付文書抜粋)

	製品名	規格	※薬 価		色調	使用上の注意(抜粋)	取扱い上(適用上)の注意 (抜粋)
塩化カリウム製剤	・KCL注10mEqキット「テルモ」 ・KCL注20mEqキット「テルモ」	10mEq 10mL/キット 20mEq 20mL/キット	178円/キット 179円/キット	テルモ	黄色透明(リボフラビンリン酸エステルナトリウム含有)	1) 本剤は電解質の補正用製剤であるため、必ず希釈して使用すること(カリウムイオン濃度として40mEq/L以下に必ず希釈し、十分に混和した後に投与すること). 2) ゆっくり静脈内に投与し、投与速度はカリウムイオンとして20mEq/hを超えないこと. 3) カリウムイオンとしての投与量は1日100mEqを超えないこと.	2.本剤は輸液セットの三方活栓や側管(ト字管等)から直接 静注しないこと.
	KCL補正液1mEq∕mL	20mEq 20mL/アンプル	75円/アンプル	大塚製薬工場	黄色透明(リボフラビンリン酸エステルナトリウム含有)	・本剤は電解質の補正用製剤であるため、必ず希釈して使用すること(カリウムイオン濃度として40mEq/L以下に必ず希釈し、十分に混和した後に投与すること)。 ・高カリウム血症を起こすことがあるので、投与速度はカリウムサンとして20mEq/hrを超えないこと・投与時ゆつくり静脈内に点滴投与すること。	
	KCL補正液キット20mEq	20mEq 50mL/プラボトル (注入針付)	172円/ボトル	大塚製薬工場	黄色透明(リボフラビ ンリン酸エステルナトリ ウム含有)	・本剤は電解質の補正用製剤であるため、必ず電解質補液 又は腹膜透析液に全量を混合して使用すること(カリウムイ オン濃度として40mEq/L以下に必ず希釈し、十分に混和した 後に投与すること)。 ・高カリウム血症を起こすことがあるので、投与速度はカリウ ムイオンとして20mEq/hrを超えないこと ・投与時 ゆっくり静脈内に点滴投与すること。	
	K.C.L.点滴液15%	40mEq 20mL/アンプル	95円/アンプル	丸石製薬	黄色~だいだい黄色の 澄明 (リボフラビンリン 酸エステルナトリウム 含有)	・(希釈後)の濃度は0.3w/v%(カリウムとして40mEq/L)以下として、1分間8mLを超えない速度で静脈内注射する。・1日の投与量は7.5g(カリウムとして100mEq)[本剤50mL]を超えない量とする。・カリウム剤を急速静注すると、不整脈、場合によっては心停止を起こすので、点滴静脈内注射のみに使用すること。	[調製方法] カリウムとして40mEq/L以下の濃度に必ず希釈し、よく振盪混和した後、投与すること。 [投与速度] 補正用として用いる場合の投与速度はカリウム
リン酸2カリウム製剤	リン酸2カリウム注20mEqキット「テルモ」	20mEq 20mL/キット	182円/キット	テルモ	無色澄明の液	1) 本剤は電解質の補正用製剤であるため、必ず希釈して使用すること. 2) 30mEq/L以上の濃度では血管痛があらわれることがある。・投与速度は20mEq/hrを超えないこと. ・本剤は使用に際して、よく混合されるよう注意すること. ・投与時 ゆっくり静脈内に点滴投与すること。	1.必ず、専用針を用いて輸液剤に混ぜて使用すること. 2.本剤は輸液セットの三方活栓や側管(ト字管等)から直接 静注しないこと. 3.本剤はシリンジポンプでは使用しないこと.
アスパラギン酸カリウム製剤	アスパラギン酸カリウム注10mEqキット「テルモ」	10mEq 10mL/キット	183円/キット	テルモ	黄色透明 (リボフラビンリン酸エステルナトリウム含有)	(希釈後の)その液の濃度は0.68w/v%(カリウムとして40mtg/L)以下として、1分間8mLを超えない速度で点滴静脈内注射する。 日の投与量は17.1g(カリウムとして100mEq:本剤10管)を超えない量とする。 カリウム剤を急速静注すると、不整脈、場合によっては心停止を起こすので、点滴静脈内注射のみに使用すること。	[調製時]
	・アスパラカリウム注10mEq ・Lーアスパラギン酸カリウム点滴静注 液10mEq(後発品)	10mEq 10mL/アンプル	62円/アンプル	田辺三菱(武田テバ、東和、日新)	無色澄明の液	・(希釈後の)その液の濃度は0.68w/v%(カリウムとして 40mEq/L)以下として、1分間8mLを超えない速度で点滴静脈 内注射する。 ・1日の投与量は17.1g(カリウムとして100mEq:本剤10管)を 超えない量とする。 ・カリウム剤を急速静注すると、不整脈、場合によっては心停 止を起こすので、点滴静脈内注射のみに使用すること。	[投与経路] 点滴静脈内注射にのみ使用すること。 [調製時] カリウムとして40mEq/L以下に希釈し、よく振盪混和した後、 投与すること。